



# 石神台

## 防災かわら版

石神台自治会防災部  
自主防災委員会

第55号 広報班

平成31年 1月

### 新年のあいさつ

“災”の成年は明けましたが、異常気象は干支の最後、亥年の今年も続くようです。自分の身は自分で守る。防災には自助の努力が基本です。昨年暮れ東南海地震の発生確率が上昇し、自助努力による食料・保存水の備蓄必要量が一週間分となりました。

防災のための“備え”は益々重要になってきています。

常に正しい情報を取り入れて防災の備えを見直すことが必要です。防災食、保存水は十分か、賞味期限は切れていないか。いざ避難時に、必要最小限のものがすぐ持出せるか…常に備えることが防災につながります。いざ災害が発生した時、自分は大丈夫、自分の家族は大丈夫と、人はみな“正常性バイアス”に陥りやすいものです。過去の災害時における逃げ遅れの原因はこの心理によると言われています。このバイアスを解消するのは防災訓練です。訓練によって災害に対応する力が得られます。自分の“備え”を新しい正しい情報によって見直し、防災訓練に積極的に参加することで災害に備えましょう。



防災部 部長 三國谷 清

### “防災” 経験が大事、訓練の積み重ねです！

昨年11月25日、防災部主催の石神台総合防災訓練が行われました。消防署員、消防12分団員、危機管理課職員の指導と見守りの中35名が参加して、



炊き出し訓練

「消火訓練」「煙り体験」「炊き出し」など寒さに負けず熱心に訓練に挑戦しました。

消火器では、普通火災用とか油火災用、電気火災用など火災の種類に対応した使用をすること、置く場所は台所ではなく逃げる経路に置くのがよい…などのアドバイスがあり煙り体験では、タオル・ハンカチ使用と姿勢を低くの注意がありました。訓練を終えた講評では「経験が大事です。訓練を積み重ねてください」「他地区では男性の参加が多いが石神台は男女5対5、女性が積極的」との評価もありました。

また、発電機を使った災害時の携帯電話の充電体験について、「石神台が初めてです。いいですね。」とのお褒めの言葉もありました。



煙り体験



携帯の充電

ニコニコマークは無事の印

みんなで出そう黄色い旗  
毎月の第一土曜日 午前中

1月は5日

2月は2日

です。

「いざ」という  
時にあわてない  
訓練をしよう！



無事です

石神台 防災部

### 水道山配水池の補強工事→説明会と見学

10月29日、公民館で県企業局水道部による水道山国府配水池の耐震性等についての説明会があり、現在の耐震強度は震度6 迄対応、今後予算が認められれば2027年度までに震度7 迄に引き上げるとの話がありました。



さらに、12月3日には現地見学会が行われ23名の皆さんが参加、「被害が起らないよう対応・対策を行っている」との説明がありました。